

このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

はじめに	主な特長	2
	ご使用前に	4
	各部の名称	7
	リモコンの上手な使いかた	10
	ローバッテリー時の動作について	10
	電池入れ方(交換のしかた)	11
	アンテナユニットの取り付けかた	12
	アンテナユニットの発光機能について	13
操作する	スリープ機能について	14
	安全機能について	15
	エンジンを始動させる	16
	エンジンを停止させる	18
	車への乗車	19
	ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)システムについて	20
	オートキーレス機能を 使用する/停止する	22
	オートキーレスの 通信範囲を変更する	23
その他	ターボタイマー機能について	24
	エラー音について	25
	バッテリー交換や本機付け 替え時の再設定	26
	こんなときは	28
	アフターサービスについて 仕様	31



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- ・適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- ・オートマチック(AT)車
- ・キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- ・12V車で、⊖アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

・マニュアル(MT)車、外国車には絶対に取り付けできません。

■オートキーレス機能

リモコン所持者がキー操作なしで、車から離れると車の鍵を施錠、車に近づくとき解錠されます。

ボタン操作によるドアの施錠/解錠(マニュアル操作)も可能です。

※ オートキーレス機能時：2m以内(3段階切替)、マニュアル操作時：10m以内。

※ 車種ごとにコントロールが異なるため使用できない場合もございます。また、別売のドアロックリレーアダプターが必要になる場合があります。

※ 商品ごとに個別のIDコードを設定。他の電波による誤動作を防止します。

■電波到達距離(直線見通し)3,000mを実現

アンパ内蔵受信アンテナの採用により、電波の到達距離が直線見通しで3,000mと大幅に向上しました。離れた場所からリモコン操作でエンジンの始動・停止ができます。

市街地、住宅地(見通し) 約300m(300m~700m)

妨害電波の少ない河川道路(見通し) 2,000m~最大3,000m(当社測定)

※ 電波の届く距離は、地形・建物などの条件により変化します。

※ ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときの方が短くなることがあります。

※ 車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲でご使用ください。

■万一の事故を防止する充実の安全機能

本機により、エンジンを始動させるときや始動した後に、さまざまな安全機能が働き、万一の事故を防止します。

① エンジン自動停止機能：本機でエンジンを始動した後、設定した時間が経過するとエンジンが自動的に停止します。

② P・ポジション自動検出：シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動はできません。また本機でエンジンを始動させた後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが自動的に停止します。

※ 一部の車輦では、P・(パーキング)ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。この場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

③ コンライトキャンセル機能(オプション対応)：オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。(別売のA-60を使用して、車のコンライト信号線に接続した場合)

④ ハザード制御機能(オプション対応)：ドアロック・アンロック出力線接続車で、ドアのロック/アンロック時にハザードランプを1回/2回点滅して、ドアの施錠/解錠が行われたことをお知らせします。(別売のA-18SFを使用して、本機からのハザード制御線を車のハザードランプに接続した場合)

■安心の3年保証

お客様に安心してご使用いただけますように、3年間の保証をご提供いたします。

※ 3年保証はメインユニット(リモコンは1年、電池等の消耗品は除く)が対象となります。

■誤動作を防ぐIDコード

1億通りの中から商品ごとに個別のIDコードを設定。他の電波による誤動作を防止します。

■ターボタイマー機能

走行時間に合わせて、走行後のアフターアイドリングを自動的に行うことができます。

※ P・ポジションを自動検出できない車輦の場合は、P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。(フットブレーキへの接続では動作しません)

■光るアンテナ

車載アンテナ(受信アンテナ)は、内蔵ランプにより光り、インテリア効果を高めます。また、このランプの発光状態(点滅または点灯)により、本機の動作状態を知ることができます。

■スリープ機能

車を使用しない状態が10日以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が動作すると、本機による始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。

■リトライ機能

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動を自動的に2回まで行います。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告: 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意: 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⊘ ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠ 警告

❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

⊘ 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。

⊘ 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

⊘ お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでONした場合と同じ状態になり、大変危険です。

❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。

⊘ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

⊘ 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

⊘ 煙がでている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

⊘ サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずスイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にする

- ボンネットを開けるときの
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき
- 万一、リモコンを紛失したとき

❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する

本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

❗ 車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

⊘ むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守る

- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)を切ってください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。また凍結した場合、モーターが損傷する恐れがあります。
- 全ての窓を閉めてください。
- 全てのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。



ご注意 電波法に関して

- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

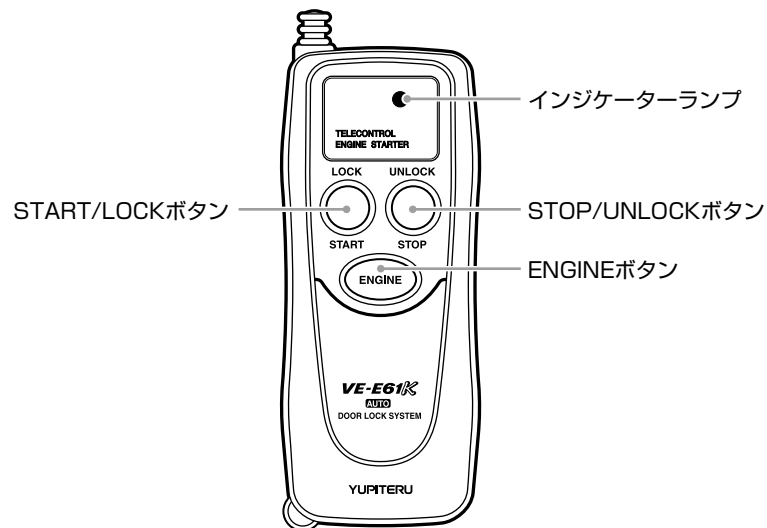
- コンライトキャンセル機能を配線していない場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について
ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったりドア・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので車のキーは必ず携帯してください。
キーでエンジンをかけているときは、リモコンでドアのロック/アンロックはできません。

ご注意 取り扱いについて

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、濡れた手でさわったり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはいししないでください。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。



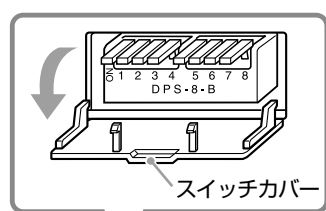
リモコン



ファンクションスイッチ

取り付ける車や使用条件に合わせて、取り付け店であらかじめ設定します。
※No.2/3以外は、取り付け店で設定したあと、触れないでください。

NO.	スイッチ機能	ON	OFF	ON：下側 OFF：上側
2	アイドリング時間	ショート	ロング	
3	ターボタイマー	使用する	使用しない	



アイドリング時間

	ショート	ロング
ガソリン車	10分	20分
ディーゼル車	15分	30分

アンテナユニット

アンテナ

リモコンから送られてくる信号を受信します。
また、使用中にアンテナが発光（内蔵LEDの点滅または点灯）し、その発光状態により本機の動作状態を知ることができます。

アンテナジャック
アンテナユニットを接続します。

コネクター3
スイッチユニットを接続します。

メインユニット

コネクター2
センサーハーネスを接続します。

コネクター1
車種別専用ハーネス（別売）を接続します。

P・ポジション検出ができない場合はブレーキ検出線をフットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプに接続します。また、必要に応じてドア検出線（別売）やハザード制御線（別売）などを接続することができます。

※P・ポジション自動検出ができない車種では、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプに接続しないと、本機は動作しません。このような車種でターボタイマー機能を使用する場合は、P・ポジションインジケータランプに接続してください。（フットブレーキへの接続では、ターボタイマー機能は動作しません）

スイッチユニット

メインスイッチ

本機を使用しないときや、車を整備や車検等でお預けになるとき、リモコンを紛失したときは必ずOFFにしてください。

パイロットランプ

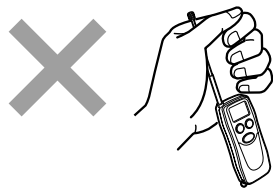
リモコンから、始動/停止の信号を受信すると数秒間点滅します。
なお、アイドリング中は点灯し、またターボタイマー動作中はアフターアイドリング時間を点滅回数で表示します。（メインスイッチをONにしてもパイロットランプは点灯・点滅しません）

リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

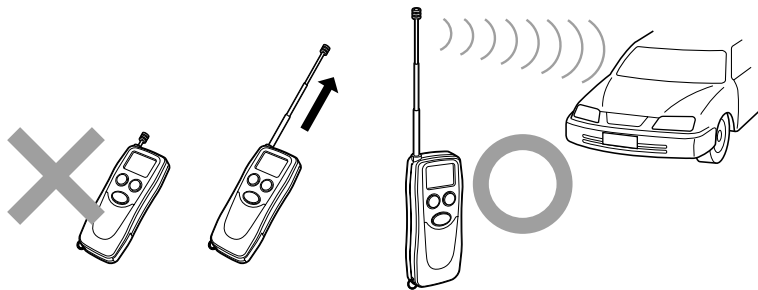
■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※ 通信距離が短くなります。



■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。

※ 斜めにして操作すると、通信距離が短くなることがあります。



電池の入れ方（交換のしかた）

ご購入後、はじめて本機を使用するときは下記の手順で付属の電池を装着してください。電池交換中の誤操作を防ぐため、車に取り付けられているスイッチユニットのメインスイッチをOFFにしてから行ってください。使用するときは、メインスイッチをONにします。

※ 付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

電池寿命の目安

リモコンのインジケータランプが点滅したら（ローバッテリー表示）新しい電池（CR2032×2）と交換してください。

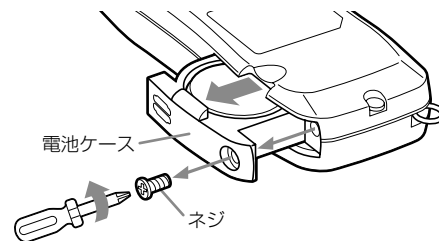
※ 電池の寿命は、使用する条件によって異なります。

オートキーレス機能を使用しない場合、約1年間使用できます。

※ 指定の電池（CR2032）以外は使用しないでください。

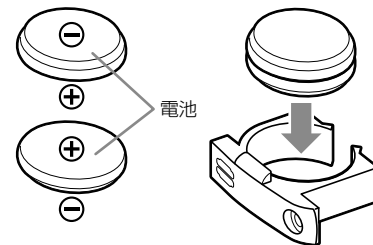
※ 交換するときは必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようにご注意ください。

1 リモコン側面のネジをはずし、電池ケースを取り出す



※ ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池の⊕側どうしを合わせて電池ホルダーにセットする



※ 電池ケースのネジ以外は触れないでください。本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

3 電池ケースを戻し、ネジを締める

⚠ 警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万が一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

※ 電池を交換した場合、オートキーレス機能を使用するに設定されます。（22ページ参照）

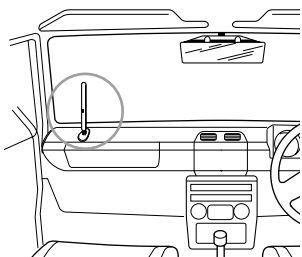
ローバッテリー時の動作について

リモコンの電池が消耗すると、インジケータランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。ローバッテリー表示時は、オートキーレス機能とその設定操作はできなくなります。（マニュアル操作、エンジンスターター操作はできます）早めに新しい電池と交換してください。

さらに、電池の消耗が進むと、ランプが消灯して、すべての動作を停止します。

アンテナユニットの取り付けかた

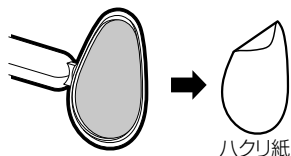
アンテナユニット(受信アンテナ)は、運転中の視界の妨げとならない場所に取り付けてください。



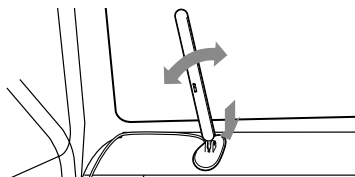
1 取り付け面のゴミやホコリをふき取る

※ 貼付面が汚れていると、しっかり貼り付きません。また、光沢剤がついている車(特に新車)は、中性洗剤でよくふき取ってください。

2 ベース裏面のハクリ紙をはがす



3 取り付け面にしっかりと貼り付け、アンテナの角度を調整する

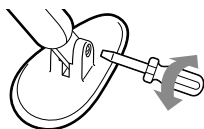


※ アンテナユニットは車体の金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。(通信距離に影響します)

また、なるべく高い位置にあるほうが、電波が届きやすくなります。

※ 粘着力を安定させるため、24時間放置してください。

※ アンテナの動きが悪いとき(ゆるいときや、きついとき)は、ジョイント部のネジをドライバーで調整してください。(ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります)



⚠ 警告

- エアバッグ上や、エアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり、配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け、配線をしてください。誤った場所への取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

取り付けは、確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。また、フロントガラスには取り付けしないでください。

- ※ 車種により、取り付け部分周辺が日焼けして変色した場合、アンテナユニットを取りはずした跡が残ることがあります。
- ※ デフォグガー(曇り取り)およびラジオアンテナが埋め込まれたウインドウ付近に取り付けた場合は、通信距離が短くなります。
- ※ 無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、それらの影響で通信距離が短くなることがあります。
- ※ ファンモーターなどのノイズの大きい車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときの通信距離が短くなることがあります。

アンテナユニットの 発光機能について

アンテナユニット(受信アンテナ)は、内蔵ランプが発光(点灯または点滅)します。このランプの発光の状態により、本機の動作状況を知ることができます。ドアロック/アンロック操作では、点滅・点灯しません。



発光機能を動作させると

動作状況	内蔵ランプ
通常 (リモコンからの電波を待ち受けている状態)	点滅
電波受信時 (リモコンからエンジン始動・停止の電波を受信する時)	消灯 (約1.5秒間)
アイドリング中 (エンジンスターターによる動作中)	点灯
アフターアイドリング中 (本機のターボタイマー機能動作中)	点灯

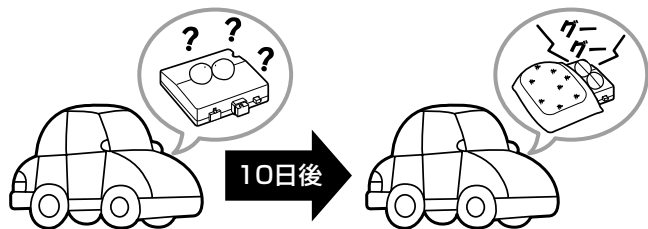
※ メインスイッチがOFFのときや、ドアロック/アンロック操作時、スリープ機能が働いているときは、ランプは点滅・点灯しません。また、キーでエンジンを始動したときも点灯しません。

スリープ機能について

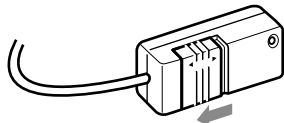
車を使用しない状態が10日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。

スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動、ドアロック/アンロックはできません。

スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、スイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にしておきます。



車のバッテリーとエンジンスタート始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

このようなときは車のバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認(26ページ)が必要です。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外の場合は、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車種では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。



■コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリーあがりを防ぐことができます。

■ドア検出

(別売のA-60を使用してドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスタート始動中、ドアを開けると、エンジンが停止します。

※リモコンでエンジン始動後1分間、またはターボタイマーアフターアイドリング中は、この機能は動作しません。

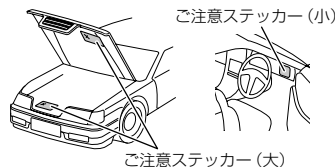
■ハザード制御線

(別売のA-18SFハザード制御線を接続した場合のみ)

オートキーレス機能またはリモコン操作で、ドアをロック/アンロックすると、ハザードランプを1回/2回点滅してドアの施錠・解錠をお知らせします。

警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、スイッチユニットのメインスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



エンジンを始動させる

車に取り付けているスイッチユニットのメインスイッチがONになっていることを確認してください。



リモコンを操作するときは

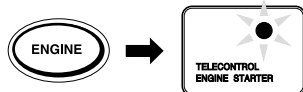
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- アンテナに手などを触れると、通信距離が短くなります。

メモ

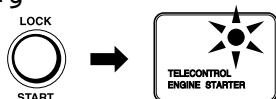
• 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

リモコンの操作

1 ENGINEボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



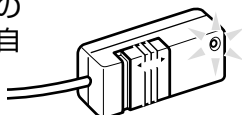
2 インジケータランプが点滅中(約2秒間)に、START/LOCKボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約1秒間)へ変わりスタート信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 安全機能のチェックを自動的に行う



スイッチユニットのパイロットランプが数秒間点滅し、メインユニットからは確認音が鳴ります。

4 約5秒後にエンジンを始動させる

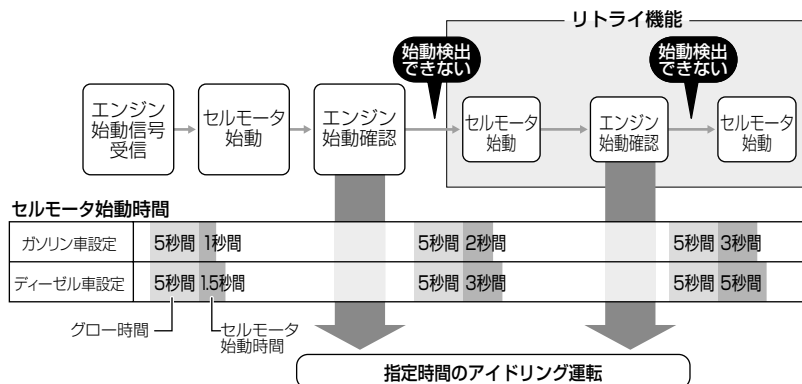
- 始動すると、アイドリング中はスイッチユニットのパイロットランプが点灯し、メインユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことを知らせます)
- 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。

● 始動したあと、設定されている時間*が経過すると自動的にエンジンは停止します。

* 10分から30分。(アイドリング時間の設定は8ページ参照)

リトライ機能とセルモータ始動時間について

エンジンが始動しなかったときに、再始動(リトライ)を自動的に2回行います。



※ オルタネータ線を接続した場合、セルモータの始動時間はガソリン車、ディーゼル車にかかわらず最大5秒となり、エンジンの始動を検出すると、セルモータを停止します。

※ リトライ機能によっても始動しないときは、もう1度リモコン操作をやり直してください。

※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、オルタネータ線(茶線)の接続が必要です。

警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。
リモコンの電波は周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

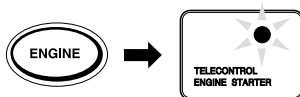
エンジンを停止させる

本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止(アイドリングを中止)することができます。

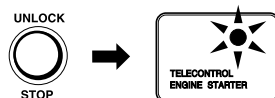


リモコンの操作

- 1 ENGINEボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



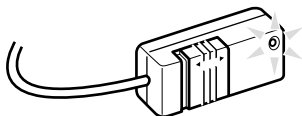
- 2 インジケータランプが点滅中(約2秒間)に、STOP/UNLOCKボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約1秒間)へ変わりストップ信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

- 3 エンジンが停止する



スイッチユニットのパイロットランプが数秒間点滅した後、消灯し、メインユニットからの断続音は鳴りやみます。

エンジンを停止させるには

スイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にしても、エンジンを停止させることができます。

車への乗車

車を発車させる

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

キーでエンジンを始動させる



走行できます。

ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)システムについて

⚠ 注意

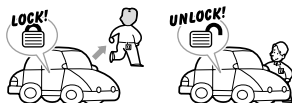
- 車のキーは必ず携帯してください。車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、故障などの場合、リモコンでドアアンロックができなくなります。またラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアアンロックできない場合があります。
 - キーでエンジンを始動している場合は、本機によるドアのロック/アンロックはできません。
 - ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。また、オートキーレス機能はドアロックが確認できる範囲に、通信範囲を切り替えてご使用ください。
- ※ オートキーレスの通信範囲とマニュアル操作の通信範囲は異なります。
- オートキーレス通信範囲 約2m以内
マニュアル操作時通信範囲 約10m以内
- ※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作上、動作範囲(距離)が異なります。
- 本機はオートリロック機能を搭載していませんので、リモコンのマニュアル操作でドアアンロックした場合は、ドアの開閉がない場合でもドアロックされません。車から離れる場合は必ずドアのロック状態の確認をお願いします。
 - ※ オートキーレス機能設定中、マニュアル操作でドアのアンロックを行った場合、オートキーレス機能でドアロックされないことがあります。マニュアル操作でドアをアンロックした場合は、鍵を使用するか、マニュアル操作でドアロックしてください。
 - リモコンをバックの中や、ポケットに入れた状態では、オートキーレスの通信範囲が狭くなることがあります。また、エンジン始動中はノイズの影響により、通信範囲が狭くなることがあります。

メモ

本機のドアロック/アンロックシステムは、スイッチユニットのメインスイッチのON/OFFにかかわらず動作します。ただし、スリープ機能が動いているときは、動作しません。

オートキーレス機能について

本機のオートキーレス機能は、リモコン所持者が“車から離れるとロック(施錠)”“車に近づくとアンロック(解錠)”を自動で行う画期的な機能です。リモコンのアンテナは収納した状態で使用できます。



なお、オートキーレス機能を停止して、ボタン操作(マニュアル操作)のみでドアロック/アンロックすることや、オートキーレス機能設定時でも、ボタン操作(マニュアル操作)でドアロック/アンロックすることもできますので、必要に応じてお使いください。ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。

	オートキーレス機能による ドアのロック/アンロック	マニュアル操作による ドアのロック/アンロック
オートキーレス機能設定中	○	○
オートキーレス機能停止中	×	○

- 荷物の積みおろしなどで車の近辺を行き来する場合などでは、オートキーレス機能を停止してご利用ください。
- オートキーレス機能の通信範囲は最大約2mです。
通信範囲は3段階に切り替えることができます。(23ページ参照)
- マニュアル操作時の通信範囲は最大約10mです。
- ※ ローバッテリー表示時は自動的にオートキーレス機能を停止します。

マニュアル操作によるドアのロック/アンロック操作について

オートキーレス機能設定中/停止中に関わらず、マニュアル操作でのドアのロック/アンロックができます。

メモ

通信範囲は最大約10mです。

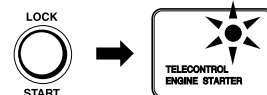
ドアロック/アンロックシステムはエンジン始動・停止の電波と異なった電波を使用していますので、リモコンのアンテナは収納した状態で操作ができます。

マニュアル操作でドアをロック(施錠)する



リモコンの操作

1 START/LOCKボタンを押す



インジケータランプが1秒間点灯します。

2 ドアがLOCK(施錠)されました

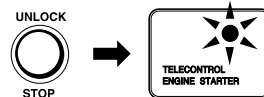
ハザード制御線(別売)を接続している場合には施錠と同時にハザードランプが1回点滅します。

マニュアル操作でドアをアンロック(解錠)する



リモコンの操作

1 STOP/UNLOCKボタンを押す



インジケータランプが1秒間点灯します。

2 ドアがUNLOCK(解錠)されました

ハザード制御線(別売)を接続している場合には解錠と同時にハザードランプが2回点滅します。

※ マニュアル操作でドアをアンロックした後、車から離れる場合は、必ずドアのロック状態を確認してください。

オートキーレス機能を使用する／停止する

リモコンの電池をはじめて装着する場合や、電池交換をした場合は「オートキーレス機能を使用する」に設定されます。

オートキーレス機能を停止する

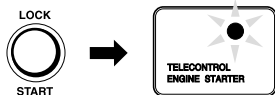
メモ

マニュアル操作とオートキーレス機能では通信範囲が異なります。オートキーレス機能では安全のため通信範囲を狭く設定してあります。
オートキーレス機能：2m以内
マニュアル操作：10m以内

オートキーレス機能を使用する

リモコンの操作

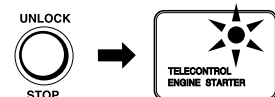
1 START/LOCKボタンを5秒以上押す



2 インジケータランプが3回点滅して、セット完了です

リモコンの操作

1 STOP/UNLOCKボタンを5秒以上押す



2 インジケータランプが2秒点灯して、セット完了です

注意

エンジンが停止している状態で設定を行うと、リモコン操作によって車のドアがロック・アンロックされますのでご注意ください。

ローバッテリー時の動作について

ローバッテリー表示時は自動的にオートキーレス機能を停止します。(ドアロック・アンロックはマニュアル操作のみ動作します)

リモコンの電池が消耗すると、インジケータランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。このような場合は早めに新しい電池と交換してください。また、電池交換後はオートキーレス機能を使用する設定にされますので、オートキーレス機能の停止や通信範囲の変更を必要に応じて行ってください。

オートキーレスの通信範囲を変更する

オートキーレス機能の通信範囲を状況に応じて、3段階に変更できます。(工場出荷時は通信範囲最大に設定されています)

通信範囲の変更は、車内で車のキーを抜き、エンジンが停止した状態で行ってください。オートキーレス機能はドアロックが確認できる範囲に、通信範囲を切り替えてご使用ください。

※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作上、動作範囲(距離)が異なります。ドアのロックは、アンロックに比べ、比較的遠い距離で動作します。

リモコンの操作

1 START/LOCKボタンとSTOP/UNLOCKボタンを同時に5秒以上押す

インジケータランプが点滅します。
現在の設定に応じてメインユニットからブザーが鳴ります。

- 通信範囲最大(広い) ピッ
- 通信範囲ふつう ビビッ
- 通信範囲最小(狭い) ビビビッ

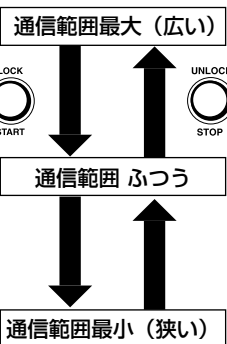
2 START/LOCKボタンを1回押すごとに通信範囲が狭くなります STOP/UNLOCKボタンを1回押すごとに通信範囲が広がります

設定を変更するたびにインジケータランプが1秒間点灯し、設定に応じたブザー音がメインユニットから鳴ります。

3 ご希望の距離に設定ができれば、再度、START/LOCKボタンとSTOP/UNLOCKボタンを同時に5秒以上押す

インジケータランプが1秒間点灯し、メインユニットから“ピービッ”と鳴り設定完了です。また、10秒間操作がないとメインユニットから“ピービッ”と鳴り、変更した設定内容で終了します(自動終了)

設定を変更した場合は、安全のため、必ず実車にてご確認ください。周囲の環境によっては設定した状況と使用状況に差が生じることがあります。



注意

安全のため、必要以上に通信範囲を広げないでください。ドアロックが確認できる範囲に設定してください。

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドルリングを自動的に行うことができます。アフターアイドルリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると、動作を開始しキーを抜いたあと、アフターアイドルリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ 走行時間が1分以内のときは、ターボタイマーは働きません。

※ ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)

ただし、P・ポジション自動検出ができない車輦でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■ターボタイマー機能の設定

メインユニットのファンクションスイッチで設定します。(8ページ)

■ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能の設定をすると、車のキーをACCまたはOFFにしたとき、自動的にアフターアイドルリングになります。

※ アフターアイドルリング中に、リモコンでエンジン停止の操作またはシフトチェンジを行うと、エンジンは停止します。

※ アフターアイドルリングが必要ないときは、スイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にしてエンジンを停止させてください。(アフターアイドルリングを行いません) また、エンジン停止後は、メインスイッチを「ON」にしておいてください。(OFFのままでは本機でエンジンを始動できません)

■オート方式のアフターアイドルリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルリングの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドルリング時間
1分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ ターボタイマー機能のアフターアイドルリング時間は、パーキングポジション(P)検出からカウントダウンを開始します。

■アフターアイドルリング時間の表示について

アフターアイドルリング中は、スイッチユニットのパイロットランプが点滅します。また10秒毎の点滅回数でアフターアイドルリングの時間がわかります。

点滅回数/10秒毎	アフターアイドルリング時間
1回	約30秒間
2回	約1分間
3回	約1分30秒
4回	約2分間
5回	約3分間

⚠ 注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。また、設定の解除をするときには、メインユニットのファンクションスイッチのNO.3(8ページ)以外は触れないでください。

※ カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降らないことがあります。

エラー音について

本機は取り付け作業時およびエンジンスター機能やターボタイマー機能が作動しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時にメインユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
PPP	STリレー接点溶着時、接点溶着を検出したときのみ 接点溶着後にリモコンよりスタート信号を受信したとき
P- P	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
P- P P	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
P- P P P P	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
P- P-	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
P- P- P	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
PPP P	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
PPP PPP	ドア制御中断時 ドア開検出

※ 初回取り付け時または付け替え時に発生する「ピピピッ ピピピッ」はP・ポジション検出ができていないためのエラー音です。P・ポジション検出機能の確認(26ページ)を行ってください。

バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定

車のバッテリーの交換や本機の付け換えなどで、車のバッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。スイッチユニットのメインスイッチをONにしたときに、メインユニットから「ピピッ ピピッ ピピッ」という確認音が連続して鳴る場合は、以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。(このような場合では、P・ポジション自動検出の確認をしないと本機は動作しません)

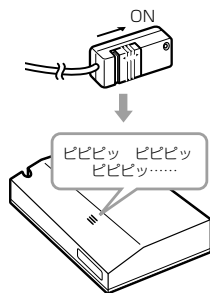
P(パーキング)・ポジション自動検出機能の確認

※センサーハーネスを外した状態でご確認ください。

手順3でP・ポジション自動検出ができず、ブレーキ検出線をフットブレーキスイッチに接続した場合は手順2の「P・ポジション自動検出ができずフットブレーキに配線した場合」を参照のうえ、P・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。

1 メインスイッチをONにします

メインユニットから「ピピッピッ ピピッピッ」という確認音が連続して鳴ります。



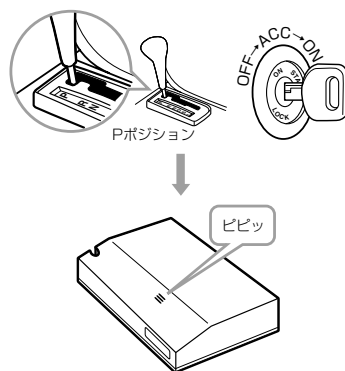
2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます

メインユニットから約3秒後に「ピピッ」という音が鳴ります。

P・ポジション自動検出ができず
フットブレーキに配線した場合

ブレーキペダルを踏まずに、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます。

メインユニットから約3秒後に「ピピッ」という音が鳴ります。



3 ブレーキペダルを踏んでシフトレバーをP(パーキング)・ポジションからR(リバース)・ポジションに切り換えます

メインユニットから「ピッ」と鳴ります。

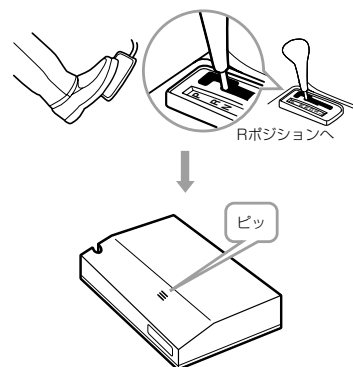
※何も音が鳴らない場合は、P・ポジション自動検出ができません。ブレーキ検出線(茶)の接続が必要です。(ブレーキ検出線の接続先は取り付け・接続説明書をご覧ください)

ターボタイマー機能を使用する場合はP・ポジションインジケータランプにブレーキ検出線を接続のうえ、メインユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、最初からP・ポジション検出を行ってください。

ターボタイマー機能を使用しない場合は、ブレーキスイッチにブレーキ検出線を接続のうえ、「フットブレーキに配線した場合」の手順に従って、P・ポジション検出を行ってください。

P・ポジション自動検出ができず
フットブレーキに配線した場合

ブレーキペダルを踏みます。メインユニットが「ピッ」と鳴ります。

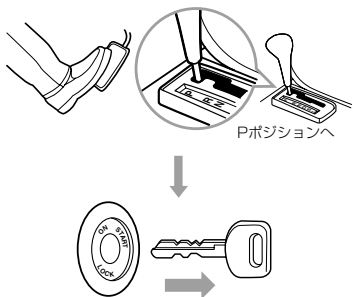


4 シフトレバーをP(パーキング)・ポジションに戻し、キーを抜いてください

メインユニットより「ピー」という音が鳴ります。

P・ポジション自動検出ができず
フットブレーキに配線した場合

ブレーキをはなします。メインユニットが「ピー」と鳴ります。



以上でP・ポジション自動検出機能の確認は終了です

必要に応じて各センサー線(ドアロック・アンロック出力線、オルタネータ線など)の接続を行い、配線処理を行ってください。

※上記の操作で確認音が鳴らない場合や、何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類やアース線の接続場所、センサーハーネスの接続場所を変更する必要があります。お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご相談ください。

その他

その他

エンジン始動関係

Q

リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。

A

- スイッチユニットのメインスイッチが「OFF」になっていませんか？ メインスイッチを「ON」にしてください。
- キーでエンジンを始動していませんか？
- シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか？
- P・ポジション自動検出確認ができていますか？
- 車と離れすぎていませんか？
- スリープ機能が働いていませんか？ (14ページ参照)
- それぞれのコネクターがメインユニットへしっかり接続されていますか？
- メインユニットのファンクションスイッチが正しく設定されていますか？
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
- キー操作でエンジンが始動しますか？

Q

気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A

気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いからです。

Q

エンジンはかかるがすぐに停止してしまう。

A

エンジンの始動検出ができていないためです。
オルタネータ線を接続してください。

リモコン操作関係

Q

操作ボタンを押しても、リモコンのインジケータランプが点滅しない。

A

電池が消耗していませんか？
電池が正しく入っていますか？

Q

リモコン操作できる距離が短い。

A

- リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？ (エンジンを始動・停止時)
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- 車とリモコンの間に、障害物はありませんか？

Q

リモコンのインジケータランプが点滅してしる。

A

電池が消耗しているので新しい電池と交換してください。

Q

ドアロック、アンロックが動作しない。

A

- キーでエンジンがかかっている状態でのドアのロック、アンロックはできません。
- 車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、リモコンでドアをアンロック(解錠)できない場合があります。
- メインユニットの設置場所によっては、電装品のノイズなどの影響によって、正常に通信できないことがあります。メインユニットの設置場所を変更してください。(オーディオ機器などから離して設置してください)

Q

オートキーレス機能が働かない。

A

- オートキーレス機能を使用するに設定されていますか？ (22ページ参照)
- 通信範囲の設定を上げてください。(23ページ参照)
- リモコンの電池が消耗していませんか？
リモコンの電池が消耗すると、インジケータランプが点滅して、電池が消耗していることをお知らせします。このような場合は、早めに新しい電池と交換してください。

その他

その他

Q

ターボタイマーが動かない。

A

ターボタイマー機能を使用するには、メインユニットのファンクションスイッチNo.3をON(ターボタイマー機能を使用する)にしてP・ポジションが自動検出できた場合や、P・ポジションインジケータランプにブレーキ線を接続している場合に使用できます。

また、ターボタイマー機能のアフターアイドルリングは、シフトレバーがP(パーキング)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをP(パーキング)に入れる前に車のエンジンを切ったり、P(パーキング)のままアフターアイドルリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。

Q

アフターアイドルリング時間が短い。

A

ターボタイマー機能のアフターアイドルリングはシフトレバーがP(パーキング)に入った時点から開始されていますのでP(パーキング)ポジションの状態でもアフターアイドルリング時間を消化しています。

そのため、実際にキーをOFFにしてからのアフターアイドルリング時間と取扱説明書24ページのアフターアイドルリング時間は異なります。

アフターサービスについて

■保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのおあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分

メインユニット(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のおとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に

従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、スペアのリモコンをお買い求めいただけますが、新しくIDコードを設定するためメインユニットもご持参いただく必要があります。詳しくは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

「取り付け・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取り付け・接続、使用状態による車の故障や事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

■送信機

●リモコン エンジン制御

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備 (RCR STD-16)
送信周波数	426.0750MHz
電波型式	F2D
送信出力	1mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上

ドア制御

適合技術基準	微弱無線機
送信周波数	314.950MHz
電波型式	F2D
送信出力	500uV/m以下 3m地点にて

使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	-10℃～+50℃
寸法	33(W)×78(H)×17(D)mm (突起部含まず)
重量	36g(電池含む)

■受信機(メインユニット)

受信周波数	426.0750MHz 314.950MHz
-------	---------------------------

電源電圧	12V車専用(DC9～16V)
消費電流	スリープ時：11mA以下 待機時：約36mA (車載アンテナLED ON時) -20℃～+60℃
動作温度範囲	メインユニット ：136(W)×96(H)×28(D)mm (突起部含まず)
寸法	スイッチユニット： 20(W)×40(H)×12(D)mm アンテナユニット： 30(W)×158(H)×50(D)mm (エレメント部158mm) (ケーブル長：5m)
重量	メインユニット：195g スイッチユニット：34g アンテナユニット：92g

■別売品

オルタネータ線 A-60	(コンライト出力線・ドア検出線として使用) 標準価格900円(税別)
ハザード制御線 A-18SF	標準価格5,800円(税別)

VE-E61K